

こんにちは!

No.178
令和4年11月1日

しばた議会です

あそぼー
ごきげん

★令和3年度決算

議員の評価はいかに!?



「議会ネット中継」への
二次元コード

※詳しくは、柴田町ホームページ
を参照してください。

一般会計の
決算額

令和2年度決算に次ぐ大規模決算額



186億1,344万円

町の決算を家計に例えてみました



はなみちゃん

家の家計簿

収入(歳入)

支出(歳出)

収入項目	令和3年度	令和2年度
基本給与(町税)	145万円	146万円
パート収入 (分担金・負担金など)	22万円	23万円
貯金の引き出し (繰入金)	19万円	21万円
昨年からの繰越 (繰越金)	20万円	11万円
親からの仕送り (地方交付税)	108万円	91万円
親からの特別な仕送り (国・県支出金)	180万円	289万円
銀行からの借り入れ (町債)	68万円	83万円
友人からのご祝儀 (寄附金)	58万円	57万円
合計 (総額186億1,344万円)	620万円	721万円

支出項目	令和3年度	令和2年度
食費(人件費)	86万円	85万円
医療費(扶助費)	96万円	65万円
水道光熱費、日用品の購入 (物件費)	88万円	84万円
子どもの学費・仕送り (補助費、繰出金)	137万円	261万円
家の増改築 (普通建設費、災害復旧費)	74万円	112万円
家電、車の修理 (維持補修費)	7万円	7万円
会社への出資 (投資、出資、貸付金)	19万円	13万円
ローン返済(公債費)	44万円	43万円
貯金など(積立金)	51万円	32万円
合計 (総額180億6,638万円)	602万円	702万円

※町の一般会計総額を3,000で割ったものになります。

9月会議は、9月5日から21日までの日程で開催されました。令和3年度会計決算では、決算審査特別委員会を設置し、詳細に審査しました。その後ワールドカフェ、分科会、委員間討議を経て、2項目を提言しました。全ての決算は、全会一致で認定しました。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症対策に振り回された年となりました。さて、令和3年度決算は、一般会計歳入186億1千344万円で、歳出180億6千638万円となり、令和2年度に次ぐ決算額となりました。

はなみちゃん家の家計簿をのぞいてみると、年収は減っていますが、これは令和2年度に支給された特別定額給付金事業(一人10万円給付)がなくなったことによるものです。しかし、ふるさと柴田応援寄附金額は増え、令和3年度も17億円を超える寄附金額となりました。

支出では、医療費(扶助費)が大幅に増加していますが、家の増改築(投資的投資)や子どもの学費(補助費)などは減っています。

主な事業では、子どもたちの教育環境の整備や雨水対策工事や河川の浚渫など防災減災にも力を入れました。各分野においても一定の成果が見られます。

今後とも、将来を見据えた財政規律と健全性を確保した町政運営に取り組むことが必要です。

令和3年度
決算

コロナ禍に対応

子どもたちの教育環境に力

令和3年度 主な事業



新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金事業
2億9,611万円



小中学校情報学習基盤整備事業
4,891万円

ふるさと柴田応援推進事業
17億3,760万円



令和3年12月8日 読売新聞 大阪府内版

子ども医療費助成事業
1億2,291万円



審査意見書

代表監査委員 大宮正博
監査委員 森 裕樹

令和3年度の各種会計は、
いずれも正確で、関係基金
の運用状況も適正に運用さ
れていることを確認した。
なお、次の事項について
留意していただきたい。

自主財源の確保を

令和3年度の行政運営は、
第6次柴田町総合計画実現
のため、国・県の補助金や交
付金等の活用を図りつつ、
職員一丸となり各種事業に
積極的に取り組んだ。

少子高齢化対策に伴う社
会保障費や公共施設維持管
理費の増加をはじめ、新型
コロナウイルス感染症対策
費や台風・地震などの自然
災害へ対応するための事業
費の増加が懸念される。

このことから、ふるさと
柴田応援寄附金の新たな
返礼品の開発やネーミング
ライツの活用など自主財源
の確保を図り、引き続き健
全で効率的な行財政運営に
努められたい。

決算審査特別委員会

みなさんの税金は

どのように使われていますか？

歳入

財政課
寄附採納一覧表の事業内容は

質疑 子どもたちの支援費100万円の内容は。

答弁 3保育所の備品を購入した。

質疑 保健衛生向上資金100万円の内容は。

答弁 保健指導に必要なため、保健指導車を購入した。



楽しい遊具が増えました(槻木保育所)

財政課
※経常収支比率が低くなっているが

質疑 令和3年度が89.1

と前年比4.4割減少している。金額に直せば数億円になるが、どのような要因なのか。

答弁 最大の要因は、普

通交付税の算定が本町にとって有利に働き、4億円多く配分されたことにあるが、これは瞬間的なものと捉えている。今後、庁舎の公債費の支払いが

増えてくるので経常収支比率はなるべく上がらないように抑えている。

※経常収支比率…経常的な経費(人件費、扶助費、公債費などに、経常的な収入(地方税、地方交付税、地方譲与税など)がどの程度充当されているかの比率を示しています。近年の全国の市町村の平均は99割前後で推移しています。

歳出

総務課
防災ラジオの在庫数は

質疑 3年度に300台購入し、在庫が75台となっている。その要因は。

答弁 当初、対象者を75歳の独り暮らしや障がい者とし購入したが、全員

からの希望がなく約半分が在庫になった。

質疑 今後の配布予定は。

答弁 70歳以上の独り暮らしの方や民生委員にお知らせをしている。

総務課
行政区長の成り手は

質疑 最近、区長の成り手がいないと聞くが、どのような状況なのか。

答弁 厳しいという話は

聞いているが、現任の区長が4年後を見据えながら後継者をつないでいく形をとっている。

まちづくり政策課
移住・定住の促進は

質疑 宮城まるごとOn

Line 移住フェアに3件の相談予約があったが、その内容は。

答弁 仕事や家賃の相場、仙台からの距離や町の雰囲気などが聞かれる。



移住相談受付中

まちづくり
政策課

WEBプロモーション事業のPRは

質疑 ユーチューブの動画作成で、登録者数が1万7千人を超えてきた。この周知方法は。

答弁 町に対して、移住定住も含めて関心を持つ方や、ふるさと納税にも関係するが、町に興味を持つ方にWEBプロモーションを行っている。

質疑 町内の方には、町の魅力を再発見するツールになるのでは。

答弁 町のきれいな風景がドラマ形式で流れている。より多くの方に見ていただき、町外の方に発信してほしい。

質疑 動画50本作成したが、この利用方法は。

答弁 町内の方を通じたPRのため、庁舎町民ホールのモニターなどで映像を流すことも考えられる。



私の田舎ぐらし（視聴はこちらから）

税務課

スマホアプリで納付

質疑 スマホアプリでの納付は全体の何割か。

答弁 普通徴収では、7割になる。

質疑 納付されたことを確認できるような方法は。

答弁 スマホの画面上で、柴田町〇〇税何円と表示され保存される。

財政課

庁舎光熱水費の状況は

質疑 燃料費が低くなった理由は。

答弁 庁舎を大規模改修する前は、重油で暖房などを運転していた。それがなくなったため。

質疑 電気料が上がった理由は。

答弁 工事中、電気は二本立てで契約していた。基本料金の値上がりが発生。また、暖房が重油から電気変わったため。

質疑 水道料が令和3年度に半分程度に減少して

いる。その理由は。

答弁 トイレの水洗、手洗いが自動水栓の節水型になったため。



集中管理で電気料削減

地方創生
事業費

歩くことから始めよう

質疑 歩くまち柴田・SHIBATAALK・推進環境整備事業の成果は。

答弁 船岡城址公園の山頂部分の緑道整備などを実施。休日などは新しい道ができ回遊できるようになり喜ばれている。



緑道の整備で回遊性が向上(船岡城址公園)

地方創生
事業費

妊婦などへの支援は

質疑 妊婦などへの生活支援臨時給付金で、給付済みが216人である。出生数225人との差は。

答弁 母子健康手帳交付者、交付対象者が申請し交付したもの。

福祉課

在宅高齢者福祉は

質疑 老人福祉電話貸与事業で、貸与台数が1台となっている。利用手続きは。

答弁 貸与の申込書がある。決定となれば、双方で使用貸借契約を結ぶ。更新は1年だが、申し出がなければそのまま利用できる。



子ども
家庭課

子ども医療費の助成件数の増は

質疑 令和3年10月から高校生まで対象が拡大された。件数の伸びは、単純に高校生分が増えたためか。

答弁 分析はしていないが、18歳まで拡大されたことに伴う助成件数の増と推測できる。

健康推進課

健康づくり事業への参加者は

質疑 健康づくり事業、家トシ30の達成者は181人。年代別の内訳は。

答弁 6歳から9歳で7人、10代12人、20代5人、30代23人、40代21人、50代16人、60代32人、70代57人、80代8人となっている。



質疑 健康へのアンケート結果は。

答弁 新たな運動習慣や

健康推進課

産後ケア事業は

質疑 産後つつが増えているが、宿泊型はまだ無理なのか。

調整を進めていたが、施設の修繕などで実現しなかった。

答弁 当初1か所あり、

農政課

花き生産販売戦略は

質疑 産地としての差別化・ブランド化があるが、その目的・目標は。

答弁 今回、ふるさと納税への商品の送付用の箱

を作ったことや、品評会に参加することで、柴田産のブランドを認知してもらおうきっかけになればと考えている。

農政課

里山ビジネス振興事業は

質疑 ゆずペーストを使った商品開発とあるが、その成果は。

答弁 ゆずスイーツフェアの開催があり、スイーツが町内4か所の菓子店や飲食店で提供された。

商工観光課

白石川堤二丁目本桜「ブランド化事業は

質疑 2町連携事業の詳細と事業の経過、効果は。

構築など外国人観光客向けに整備した。

答弁 国の東北観光復興対策交付金事業

と町の単独事業の2本立てで大河原町と連携して各事業を行った。多言語案内サインなどの製作、多言語情報ウェブサイトの



ようこそ 柴田町へ（船岡駅2階）

都市建設課

地震防災事業は

質疑 耐震診断が13件、その内改修工事は3件。診断での判定では、どのくらいが修繕する必要があるとなったのか。

答弁 すべての住宅で耐震改修が必要との結果。住宅により違うが部分的改修や全体的改修が必要との個々のランクがある。

教育総務課

いじめ問題専門委員会とは

質疑 構成メンバーは。

答弁 仙台大学教授、仙台弁護士会所属弁護士、精神科医、臨床心理士の4名である。

スポーツ振興課

ネーミングライツの募集の状況は

質疑 館山と入間田のテナスコートが対象だが、募集や周知の状況は。

答弁 まだ応募はないが、お知らせ版やホームページ・メールなどで周知する。また、利用者などにも声掛けする。

スポーツ振興課

元気いっぱい しば体操の普及は

質疑 町民への普及は。

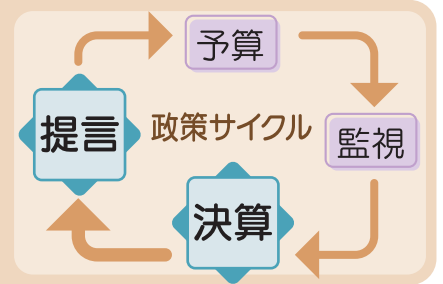
答弁 各小学校の子どもたちに踊りのパートを考えてもらい、仙台大学と協力して体操を作った。運動会の種目や準備運動で実施した。DVDを作成し、保育所や児童館に配布した。子どもたちを通して町民に広めたい。



元気いっぱい!!

～検証結果を令和5年度予算へ向けた提言に盛り込む～

令和3年度決算 《徹底検証》



令和3年度の各種会計決算は決算審査特別委員会に付託され、審査が行われました。特別委員会では担当課など執行部への質疑だけでなく、決算や各種事業への意見や課題などを出し合い整理するため、ワールドカフェ形式での委員間討議を実施し意見を交わしました。

出された意見や課題はさらに討議によって精査され、最終的に全会一致となった2項目を決算審査認定に当たっての提言事項として、9月会議最終日に町長へ提出しました。

Step 1 / 委員間討議 (特別委員全員)

- ・概ね満足していること、十分な成果があったこと
- ・議論（検証）の余地があること
- ・問題があること、納得できないことを話し合います。

Step 2 / 決算審査特別委員会 質疑

各議員が決算書などを精査しての疑問点、ワールドカフェや事前に行われた常任委員会での委員間討議で出されたことを担当課ごとに3日間で質疑します。概要はP4からP6で取り上げています。

Step 3 / 委員間討議 (特別委員全員)

質疑の内容や各事業の成果、予算執行の実績を踏まえて話し合います。

Step 4 / 委員間討議 (常任委員会ごとの分科会)

ワールドカフェで出された意見を、分科会（常任委員会）が担当する項目に分類、整理します。その後、出された意見の本質を改めて討議し、議論を深めながら提言したい項目を絞ります。

Step 5 / 委員間討議 (特別委員全員)

分科会の討議内容（提言したい項目など）が委員全員に共有され、委員間で質疑を行います。その後、質疑の内容などを踏まえて分科会で話し合い、再度、委員全員に共有されます。最後に、各分科会で出された提言は提言事項としてまとめられ、特別委員全員の一致をもって確定されます。



令和3年度各種会計決算の認定に当たっての提言事項

1. 防災ラジオの活用について

防災行政無線個別受信機(防災ラジオ)は754台の在庫があった。これまでも、対象者を拡大するなどして貸与を進めてきたが、在庫分については、精密機器の性質上、長期保管による経年劣化が懸念される。希望する人に貸与するなど条件を緩和する施策について検討すること。

2. WEB プロモーションについて

国内外からの観光客誘致や移住・定住希望者の増加、ふるさと柴田応援寄附金増額を目的とし、動画チャンネルで50本の動画を作成・配信しているが、広く町民には知らされていない。町民に知ってもらうために情報発信の方法を検討すること。

議員はこう評価した!!

8点 賛成

新たな観光施策を

一目千本桜・船岡城址公園だけでなく新たな観光施策を考えるべき。



安藤 義憲 議員

9点 賛成

子育て・教育支援が充実

時代の流れに即した対応ができている。今後も充実した支援策の実施を。



石森 靖明 議員

9点 賛成

着実かつ安定の対応

コロナへの対応と新しい都市構造再編の推進など、これからの時代への対応ができている。



佐久間光洋 議員

8点 賛成

コロナ禍に負けず評価

コロナ禍のなか、主な行事の中止は残念だったが、全体的に評価できた。



伊東 潤 議員

8点 賛成

事業の検証を

役場庁舎の耐震工事の完了。コロナ禍の生活支援を評価する一方、支援内容の検証は必要。



平間 幸弘 議員

8点 賛成

コロナ対策への取り組み

事業者、高齢者、生活困難者、子育て世代に支援策を実施できたことへの評価。



吉田 清 議員

9点 賛成

充実した教育環境の推進

地域経済対応の事業や電子黒板など情報教育に係る学習環境の整備推進を評価する。



桜場 政行 議員

8点 賛成

自治体DX化が加速

コンビニ交付、スマホ払い環境の整備が進み利用が増えた点、評価できる。



小田部峰之 議員

9点 賛成

有利な財源で有効活用

庁舎の耐震化やトイレ等の補強工事をはじめ、公民館・駅のトイレ改修ができた。



吉田 和夫 議員

8点 賛成

コロナ禍対応の各種支援

交付金を活用し、コロナ禍における高齢者・子育て世代や事業者にも有効な支援ができた。



加藤 滋 議員

令和3年度 一般会計決算を

各議員が10点満点で評価

8点 賛成

コロナの独自策に取り組む
介護の独自支援や業者支援など
町独自の支援に取り組んできた
ことを評価。



広沢 真 議員

7点 賛成

都市計画の大枠ができた
都市計画マスタープランや立地
適正化計画ができ方向性は確認
できた。



秋本 好則 議員

7点 賛成

住民生活を最優先に
船岡城址公園の事業が最優先に
なっている。水害対策や子育て
支援に力を入れるべき。



白内恵美子 議員

8点 賛成

将来を見据えた財政運営
歳入歳出の実質収支の約5億円
や将来の事業に充てる各種基金
残高約13億円の賛成。



大坂 三男 議員

8点 賛成

子どもへの投資に評価
子ども医療費助成が18歳まで延
長したこと。教育関連に力を入
れたことを評価する。



平間奈緒美 議員

10点 賛成

安全安心なまちづくりを
子どもたちの教育環境整備、役
場庁舎の耐震化や保健センター
の大規模改修が行われた。



佐々木裕子 議員

令和3年度各種決算認定の議案上程により、主要な施策の成果と予算執行の実績報告などを基に、3日間の質疑や委員間討議などを実施しました。各議員は、多くの質疑や討議を重ねて結論を出したものです。ここでは、一般会計決算について各議員の評価を掲載しています。

※なお、議長（高橋たい子）と議会選出監査委員（森裕樹）は、決算審査特別委員ではないので、掲載していません。

槻木放課後児童クラブを増築

(事業費1億3,665万円)

議案第 15 号

9月会議では、専決処分1件、人事案件2件、槻木事務所設置に関する条例の廃止1件、条例改正2件、陳情1件のほか、令和4年度各種会計補正予算が審議され、いずれも全会一致で同意、可決しました。一般質問は11人が行いました。

槻木小学校校庭 風の広場に増築

入所希望者が多く、現在の施設での対応が困難になった。軽量鉄骨平屋建て 248㎡。場所は、槻木小学校低学年校舎の南側となる。



来年度は新たな建物で

児童館との連絡は

質疑 現在使っている児童館と新たな児童クラブは別棟になる。増築部分には事務スペースを設けていない。職員の行き来に不便を感じるが。

答弁 児童館と児童クラブ間はコンクリートで舗装する。また、内線電話の利用など検討していく。

木造建築は可能か

質疑 今回、設計は軽量鉄骨造だが、木造建築にできないのか。

答弁 年度内の完了を考えると、軽量鉄骨にすることで、スペースの確保と工期の短縮が可能となる。木造も考えたが、ウッドショックもあり、材料が高騰しており厳しい。

工事費
597万円

転落防護柵の更新

質疑 町道清住8号線・9号線の安全施設設置工事とは。

答弁 用水路への転落防止柵の更新工事となる。現在、残り300枠ほどあるが、そのうち100枠を今回実施する。

質疑 今年度で完了するのか。

答弁 天候などを考慮しても、3月上旬をめどに工事を進める。

委託費
28万円

庁舎内にフォトブースが

質疑 フォトブースパネルの委託先は、また完成イメージは。

答弁 委託先はまだ決まっていない。イメージは、縦横2倍ぐらいのフレームに、花のまち柴田にふさわしいデザインを想定している。



フォトブース設置予定箇所
(町民環境課前)

意見書案第1号 生産資材価格高騰対策等に関する 意見書の提出

肥料・飼料・燃油などの生産資材価格高騰等により農業の生産現場は厳しい経営状況に追い込まれている。秋以降、経営努力で克服できる限界を超え、さらに、ウクライナ情勢等が加わりリスクは深刻で長期化が懸念される。食料の安定供給、将来を見据えた食料安全保障の観点からも価格高騰対策が喫緊の課題であり、地域農業の維持・発展を強く要望する。

① 急激な価格高騰に対応しうる予算確保と、多くの生産者が活用しやすい事業。

② 国産農畜産物の再生産が確保できる適切な価格形成の実現に向けた仕組みの構築と国民への理解醸成を図ること。

人事案件

○ 柴田町教育委員会教育長の任命に同意

船迫 邦則氏(再任・西船迫)

○ 柴田町教育委員会委員の任命に同意

中里 寛氏(新任・西船迫)



西住児童館が公民館内へ

議案第 10 号

(西住児童館移転整備実施設計委託料396万円を補正)

8月会議が8月8日に開催されました。議案は、町道富沢16号線道路改良工事請負契約と、一般会計補正予算の2件が提出され、全会一致で可決しました。

個別施設計画における取扱方針（令和元年12月27日）

建築から52年（昭和45年に設立）が経過した西住児童館の建物は、健全性評価及び建物の建築耐震診断調査で耐震性が確保されておらず、劣化状況も著しく、倒壊する可能性が高いと判断されたことから、他施設との機能集約複合化を検討。集約先を西住公民館とし、移転後は除却する。

水害時の避難先は

質疑 西住児童館は水害時の避難所に使うこともある。今後、どのように考えているのか。

答弁 鷺沼5号調整池や排水路の完成で公民館の利用が可能になる。地震の際は学校と公民館が避難所となることから、避難所の問題は解決される

地元への説明は

質疑 地区の主だった方への説明や、広報誌に掲載していても住民の理解は進まない。何度でも説明会を行うべきでは。

答弁 平成26年の建て替えの説明でも理解を得られなかった経緯がある。これからも丁寧に説明していく。



子どもの安全を優先したい

一般会計の補正による主な内容と予算額

主な事業名	予算額
庁舎・保健センター駐車場整備補完工事	1,987万円
西住児童館移転整備実施設計委託料	396万円
船岡並松地区雨水対策工事	486万円
都市再生整備計画拠点形成検討委託料	410万円
船岡小学校北校舎ホール天井落下防止工事	400万円

やっところこまで **キター!** 富沢16号線

議案第 9 号

工事費4,928万円（県道から中居交差点まで令和4年度完成予定）



工事が進む町道富沢16号線 写真左：五間堀川から県道方面 写真右：中居交差点から富沢方面

今回、施工延長を74㌔とし、舗装まで行います。館前堀側が歩道となり、堀側に133㌔のガードパイプが設置されます。

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議出欠状況及び審議結果（8月・9月、決算審査特別委員会）

区分	主な内容	月日	出席者数 △	賛成 △	反対 △	議決結果 △	石森 靖明	伊東 潤	吉田 清	小田部 隆之	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	佐久間 光洋	平岡 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	大坂 三男	佐々木 裕子	広沢 真	白内 恵美子	平岡 奈緒美	高橋 たい子	
会議 8月	議案審議（契約案件、補正予算）	8.8	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月会議	町政報告、議案説明、議案採決（人事案件）	9.5	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9.6	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9.7	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案審議（条例、補正予算等）	9.8	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度各種会計決算上程	9.9	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算審査特別委員会	正副委員長の互選、委員間討議	9.9	16				○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和3年度決算認定審査	9.12	16				○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和3年度決算認定審査	9.13	16				○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和3年度決算認定審査	9.14	16				○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和3年度決算認定審査（委員間討議）	9.15	16				○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和3年度決算認定審査（委員間討議）	9.16	16				○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	令和3年度決算認定審査（委員間討議）、まとめ	9.20	16				○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
会議 9月	令和3年度決算認定採決、追加議案、意見書案	9.21	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。 ※議長は決算審査特別委員にはならない。「監」は監査委員として出席。

審議結果	議案第9号～第10号	8.8	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	議案第11号	9.5	18	17	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	議案第12号	9.5	18	17	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	議案第13号～第20号	9.8	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	認定第1号～第7号	9.21	18	17	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	議発第1号	9.21	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	陳情第3号	9.21	18	17	0	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	意見書案第1号	9.21	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

○議案等の内容

8月会議	
議案第9号	令和4年度町道富沢16号線道路改良工事請負契約（11ページに記載）
議案第10号	令和4年度柴田町一般会計補正予算（11ページに記載）
9月会議	
議案第11号	教育委員会教育長の任命（10ページに記載）
議案第12号	教育委員会委員の任命（10ページに記載）
議案第13号	柴田町役場槻木事務所設置に関する条例の廃止
議案第14号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正
議案第15号	令和4年度柴田町一般会計補正予算 （10ページに記載）
議案第16号	令和4年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算
議案第17号	令和4年度柴田町介護保険特別会計補正予算
議案第18号	令和4年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第19号	令和4年度柴田町水道事業会計補正予算
議案第20号	令和4年度柴田町下水道事業会計補正予算
認定第1号	令和3年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定
認定第2号	令和3年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
認定第3号	令和3年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
認定第4号	令和3年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
認定第5号	令和3年度柴田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定
認定第6号	令和3年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定
認定第7号	令和3年度柴田町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定
議発第1号	柴田町議会委員会条例の一部改正
産業建設常任委員会付託陳情第3号	生産資材価格高騰対策等に関する緊急要請書（陳情）
意見書案第1号	生産資材価格高騰対策等に関する意見書

議員が聞いた町政への 一般質問

9月会議では、議員18人中11人が質問しました。

吉田 和夫 議員 带状疱疹ワクチンに助成を P13

- 喀痰吸引研修に助成を

秋本 好則 議員 槻木の旧4号線に水道管敷設を P16

- 免許返納後の軽自動車税の還付は

吉田 清 議員 人工透析患者の現状は P14

- 役場窓口をキャッシュレスに

石森 靖明 議員 槻木児童クラブ増設判断は妥当か P16

- 情報発信の在り方の再考を

大坂 三男 議員 図書館を核に賑わいゾーン創設を P14

広沢 真 議員 町内の山林、農地の開発に対応を P16

- 消費税のインボイスへの対応は

白内恵美子 議員 早急に雨水管理総合計画策定を P14

- 町内全域への図書館サービスを
- 障がい者用防災ベストなど配布を

小田部峰之 議員 歯科口腔保健条例の制定を P17

平間奈緒美 議員 職員の育成・指導は P15

- カスタマーハラスメント対策は

伊東 潤 議員 本町での再エネルギー開発計画は P15

- コロナ危機への対応は

加藤 滋 議員 槻木地区の阿武隈川豪雨対策を P15

- 10年を迎えた地域計画の総括を



Q 带状疱疹ワクチン接種に助成を

A 検討は続けていきたい

吉田 和夫 議員



問 町民の負担軽減と健康長寿のため、带状疱疹ワクチン接種の助成ができないか。

答 町内医療機関に対して、新たな業務として依頼することになる。さらに、財源確保の問題があり精査する必要がある。

問 検討の過程が大切。1年後になるか、2年後になるかわからない。予算規模に鑑み、まずは50歳や60歳など、対象とする年齢を区切るなどの検討はできないか。

答 医療機関との調整が必要になる。今回いただいた提案内容や、財源についても考えていかなければならない。

問 副作用がほとんどないワクチンも出ている。町民の带状疱疹の発症予防のためにも、ぜひ検討していただきたい。

答 提案いただいたので、検討は続けていきたいと思う。

Q 人工透析患者の現状は

A 町で把握している透析患者は88人

吉田

清
議員



問 町内には透析ができる病院はない。今後、町の取組みとして本町でも透析ができる病院の確保や打診などの計画はあるか。

答 周辺の地域医療を考える中で意見を出していくことが必要と考えている。

問 町内にある介護タクシーは十分に間に合っているのか。

答 町内の介護タクシー事業者2社に確認したところ、特に不足している状況ではない。また、社会福祉協議会ふれあいネットワーク互助事業など、2団体があるので、移動手段が不足している状況ではない。

問 介護タクシー利用者に町独自の支援はできないのか。

答 今後、交通弱者への通院などに対する支援策を検討する。

問 社会福祉協議会のふれあいネットワーク互助事業の協力会員は足りているのか。

答 新規会員の確保に努める。



大坂 三男
議員



Q 図書館を核に賑わいゾーン創出を

A 都市構造再編集集中支援事業を活用



賑わいの創出が期待される

問 柴田町立地適正化計画のもとで実施される都市整備事業の将来像や対象地域は。

答 花と緑が豊かで、安心して快適に住み続けられる「四季折々の彩りと、賑わいのあるガーデンシティ」を目指す。令和5年度に船岡地区の整備に着手し、東船岡駅周辺や槻木地区にも順次取り組んでいく考え。

問 船岡地区の整備事業概要は。

答 知の拠点となる新図書館建設を核として、町の歴史、文化の拠点となっている郷土館、国内外から多くの観光客が訪れるようになった観光の拠点、船岡城址公園を一体的に整備し、にぎわい・交流拠点形成を目指す。

問 最近、図書館に公民館やコンビニ、カフェなどが入り、複合施設化しているところが増えている。どう考えるか。

答 来館者が増え、地域の賑わいゾーンの拠点になると考える。

Q 早急に雨水管理総合計画の策定を

A 船迫排水区は令和4年度に策定

白内恵美子
議員



問 雨水管理総合計画の策定はいつになるのか。

答 計画策定の前に令和2年度は過去の浸水被害を検証し、浸水実績や降雨記録をまとめた。4年度は船迫排水区の浸水要因の分析と課題整理、整備・対策

目標や段階的対策計画を検討し、内水浸水想定区域策定も進める。5年度は船迫排水区以外の想定区域図と計画策定に努める。

問 国が実証実験中の排水ポンプや浸水センサーなど、新しい情報を得ることが大事なので。

答 台風19号で分かる通り、国土交通省は阿武隈川が危なくなれば排水を止める。新しい情報は取り入れるが、町民が安心感を持つては困る。排水機場が稼働しないと本町では必ず内水被害が出る。被害が出る前に財産より先に、命を守る対策を取るのには本町の宿命だと思う。今後も局地的な排水対策に努める。



川幅が年々狭まっている白石川

Q 職員の育成・指導は

A 職員の能力向上を図っている

平間奈緒美
議員



常に町のため、そして町民のために

問 職員の意欲・向上心に向けた育成・指導は。

答 柴田町人材育成基本方針に基づき、充実した職員研修、適正な人事管理、組織文化の熟成とした総合的な取組により、職員の能力向上を図っている。コミュニケーション能力や折衝能力などの向上を図るとともに、地域活動やコミュニティ活動に積極的に関わり、課題解決に向け、住民とともに汗をかける「できる公務員」を目指す雰囲気醸成していきたい。

問 本町では、早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会の研究会に参加している。その成果をどう捉えているか。

答 成果につながりにくいものではあるが、ありがたい姿を意識し続ける職員が増え、その意識が職員全体に広がっていくことを期待している。



伊東

潤
議員



Q 本町での再エネルギー開発計画は

A 開発に関する情報や相談はない

問 東北6県の山間部に建設された太陽光と風力発電所の面積が東京ドーム1千194個分に相当することが自然保護団体の調査で分かった。東北6県だけで全国で開発された面積の約24割近くを占めており、特に宮城県は山林を開発してメガソーラーや風車を作った場所が圧倒的に多いと指摘されている。町では今後、開発の計画や相談を受けた場合にどのように対応していくのか、考えを伺う。

答 宮城県では、令和4年10月1日付で「太陽光発電施設の設置等に関する条例」が施行される。本町の総面積5千403畝のうち、公共用地や宅地などを差し引いた1千142畝の土地が開発可能地と思われる。今後、具体的に相談を受けた場合には、法律や県条例に基づき、適切に対応していきたい。



自然の姿を守りたい

Q 槻木地区の阿武隈川豪雨対策を

A 毎年度国交省に要望している

加藤 滋
議員



避難行動などの参考に

※阿武隈川下流改修促進期成同盟会…名取、岩沼、角田の3市、柴田、亘理、山元、丸森の4町で構成している。

問 想定される豪雨対策として、更なる河道浚渫や河道掘削、堤防のかさ上げを県や国へより強い働きかけが必要では。

答 令和3年3月に、17年までの長期的な治水計画として、阿武隈川水系流域治水プロジェクトを策定している。本町関係では、平成11年から13年にかけて槻木白幡から岩沼市までの堤防の整備が行われた。また、白石川合流点から下流部の槻木大橋周辺の中洲を対象に、河道堆積土砂撤去や支障木の伐採を行った。

問 槻木大橋橋脚部に仙台河川国道事務所の水位の表示で、避難判断水位、氾濫危険水位、計画高水位とある。計画高とは。

答 そのラインを越えると、堤防設計上危険が生じるレベル。

問 町から国への働きかけは。

答 ※阿武隈川下流改修促進期成同盟会があり、毎年度国交省に要望している。

Q 槻木の旧4号線に水道管布設を

A 費用対効果を検討して布設する

秋本 好則
議員



早期の水道管布設を

問 槻木の旧4号線に水道管布設がない。他の町道から引いているが、新規布設には多額の経費が掛かる。このような状態の解消か何らかの支援が必要では。
答 給水管は個人の財産になり、補助や支援は難しい。しかし、費用対効果を考慮しながら水道管の布設を検討する。
問 費用対効果の考慮とは無理のない範囲で計画することか。
答 需要が増えると考えられ、配水管敷設は進めていく予定。
問 若葉町、新生町、柴田郵便局周辺でも同じ状態の住宅がある。どのように考えるか。
答 槻木地区同様、費用対効果を考慮して進めていく。
問 大震災後、柴田大橋や白幡橋は免震化されたが、水道管は手つかず。破断する危険がある。
答 柴田大橋分は設計を終え、来年度以降に施工。白幡橋分は計画的に更新工事に着手する。

石森 靖明
議員



Q 槻木児童クラブ増設判断は妥当か

A 利用希望者増も見込まれ妥当



問 西住児童館は耐震化の問題などの理由により廃止し、西住公民館へ統合。一方、槻木児童クラブは増設。この取扱の間に矛盾や齟齬が生じていないか。
答 西住児童館は西住公民館と複合化することは以前から周知している。槻木児童クラブは校内の空き教室確保が難しいことや、今後の児童数の見込みから増設を決定。齟齬はない。
問 35人学級への法律改正までの流れや、近年の出生数などに鑑みると、なぜ今急に増設との判断に至ったのか。唐突では。
答 槻木児童クラブは利用可能な教室の関係から、定員を減らした経緯があるが、利用希望が多く寄せられた。唐突ではなく調整を重ねた上での決定で、増設ありきの議論ではなかった。
問 西住地区の皆さんには誤解なきよう説明するべきでは。
答 経緯も含め、説明したい。



より充実した子育て支援の一つとして

Q 町内の山林、農地の開発に対応を

A 条例制定を含め対応する

広沢 真
議員



柴田町の景観が損なわれないためにも (Google マップより引用)

問 蔵王山麓での風力発電や村田町でのソーラー発電など再生可能エネルギーに関連する開発事業の計画が明らかになり、そのたびに近隣住民からの反対で問題になっている。町内での山林開発の情報はないか。
答 大規模開発に関する相談や情報は無い。
問 町内で開発計画があった時、どのような対応をとる考えか。
答 現在、宮城県がガイドラインとなる条例を準備しており、地域住民との合意形成が義務付けられる。町内の1千142畝が開発可能な土地。近隣の開発案件の規模が100畝であることから、町内で開発ができないとは言えない。地域住民からの情報を含め、開発行為に関するアンテナを高くするとともに、再生可能エネルギー発電と環境との調和に関する条例の制定に向けた準備を進めていく。

Q 歯科口腔保健条例の制定を

A 早急に制定に向けた準備を始める

小田部峰之 議員



歯周疾患も早期発見早期治療で

問 成人期は行政が関わる歯科保健活動との接点が希薄な時期、ここで多くの方が歯周病に罹り、それにより歯の喪失が始まる。口腔の健康は、質の高い生活を営む上で重要。そして健康寿命の延伸に貢献、さらに医療経済効果も期待できる。歯科口腔保健条例の制定を契機として、歯と全身の健康との関係認識の普及啓蒙、切れ目のないサポート体制の構築が望まれる。

答 歯科保健事業として、1歳から3歳6か月児歯科検診や健康増進法に基づく、節目成人歯科検診、特定検診時に案内する成人歯科相談など実施している。歯科口腔保健条例は、令和7年度からスタートする「第3期健康しばた21」の計画に、歯と口腔の健康づくりに関する総合的かつ計画的な実施が盛り込まれるよう、早急に制定に向けた準備を始める。

ちょっと一息



そもそもな疑問??

Season2 Part 1

シリーズでお届けしていましたが、ご好評をいただきパート4まで連載してまいりました。そこで今回からは、見る角度をかえてシーズン2として引き続き連載します。どうぞお楽しみに。

議員ができないこと、しないこと



寄附行為の禁止

議員は、特定の場合を除いて、選挙区内の人に対しての寄附は全面的に禁止されています。中元、歳暮、祝儀、饂飩、社会福祉施設への寄附などもすべて含まれます。また、議員に対してこれを求めることも禁止されています。



例外的に認められるもの



本人自身が結婚披露宴や葬式などに出席する場合
結婚祝いなどの「祝儀」は金銭ばかりではなく品物も可
「香典」は金銭に限られます。

あいさつ状の禁止

議員は、当該選挙区の人に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これらに類するあいさつ状（電報その他これに類するものを含む。）を出すことを禁止されています。

※ワープロ、印刷したものに署名したものは、自筆とは認められません。



議員は、公職選挙法で寄附行為や挨拶状などを禁止されています。柴田町議会議員もこの適用を受けます。





常任委員会レポート
各委員会で、町の現状について現地視察及び担当課から調査した内容を報告いたします。
よりよい町を目指して

総務 防災倉庫の配備状況は

調査日：令和4年6月20日
6月21日

■活動状況

- (1)町内自主防災組織における活動状況と防災倉庫の配備状況について
- (2)地域おこし協力隊の活動状況と町の支援内容について
- (3)しばたの未来株式会社への行政視察（行政視察）

■委員会の視点

《総務課》

- 町内自主防災組織では、「活動状況報告」のような統一様式を用いて、毎年、各組織上の状況把握に努めること。
- 防災機材については、作業点検を定期的を実施するようアナウンスすること。活用方法とメンテナンスのフォローアップを心掛けること。



文教厚生 ICT を活用した授業の状況は

調査日：令和4年6月16日
7月4日・6日

■活動状況

- (1)町内小中学校のICTを活用した授業について
- (2)児童福祉施設ICTシステムの活用状況について
- (3)小学校通学路の安全点検について

■委員会の視点

《教育総務課》

- ICTを活用した授業での通信などのトラブルについては、国や県などと情報を共有すること。
 - 町内の小中学校の電子黒板設置については、各学校の必要状況を確認し対処されたい。
- 《子ども家庭課》
- 児童福祉施設では、より効率的なデジタル管理が行えるよう、タブレット端末にオフィスソフトの導入を進められたい。



産業建設 駅改集札業務の状況は

調査日：令和4年6月14日
6月15日

■活動状況

- (1)「みやぎ型管理運営方式」導入後の浄水施設について（行政視察）
- (2)船岡駅及び槻木駅の改集札業務について

■委員会の視点

《商工観光課》

- 駅コミュニティプラザは現在、あまり利用されていない状況にある。給排水設備などの利用しやすい環境を整備し、活用を図ること。駅周辺整備にあたっては、地方創生関係交付金などを活用するとともに、必要に応じて、駐車スペースの拡充も検討すること。



令和4年度
議会懇談会
実行委員会報告
7月22日(金)開催

柴田町議会 × 柴田高校生徒会 × 町職員

柴田町議会では、若い世代に議会や行政に関心をもってもらうこと、高校生から地域課題などについて意見をもらうことを目的として毎年柴田高校生と懇談会を行っています。

今回のテーマは「住み続けたいまちって…?」と題し、生徒会の皆さん、柴田町役場職員と一緒に懇談をしました。



テーマ①
住みやすい
まちとは？

- ・ 広くて遊具がいっぱいの大きな公園
- ・ 歩いていて楽しいまち
- ・ 道路歩道が整備されている
- ・ 街灯が整備されていて夜道が明るい
- ・ 交通、買い物の便がいい
- ・ 花よりも人への生活に税金を使うべき
- ・ 出産、育児へのサポート etc…

テーマ②
20年後、実現
するためには

- ・ 子育てと仕事の両立ができるようにしてもらいたい
 - ・ 参加しやすいイベントを。柚子を使った料理教室など
 - ・ 駅前の活性化が必要（キッチンカーの出店など）
 - ・ 住民へのアンケート調査（SNSなどの活用）
 - ・ 子ども議会（高校生版や高校生議会の実現）
- etc…



生徒会の皆さん
柴田町若手職員
の皆さんと

ようこそ!!柴田町へ

3議会からの視察を受け入れました。

8月23日



関東町村議会議長会

議会改革の取り組みについて

七ヶ宿町議会

議会のICT化について



7月27日

7月26日



埼玉県戸田市議会

議員間討議と高校生との
懇談会について

サークル紹介 町内で活動しているサークルを紹介します



川交会 (せんこうかい)

平成元年、仙台大学硬式野球部への活動支援を目的に、町民有志で設立されました。会の名称は、ここ柴田の地で白石川と阿武隈川の二つの川の流りが交

わって勢いを増すのと同じように、柴田町民と仙台大学との交流を通じた地域の活性化や大学の躍進の勢いも増すようにとの願いを込め名付けられました。

近年はコロナ禍で思うように活動できていませんが、以前は明治神宮球場で開催された全国大会や仙台六大学野球大会の応援、学生さんとの食事会などをおこなっていました。

みなさんも私たちと一緒に、大学生が青春を懸ける姿を応援しませんか？ご入会をお待ちしています！

相澤 辰夫さん (船岡中央)

学生が頑張る姿を応援するとこちらまでエネルギーをもらえます。会員の熟年化が進んでいますが、多くの世代の皆さんと共に感動を分かち合いたいですね。お気軽にお問合せください。

高田 三郎さん (西船迫)

“わが町の大学”という思いで川交会に入会し応援しています。仙台大学は「地域密着型の健康づくり支援システムの構築」にも取り組んでおり、町民との交流が益々増していくものと期待しています。

大沼 英一さん (船岡東)

硬式野球部や様々な部活動の活躍を誇りに思っており、地元柴田町の名声を全国に促したことに感謝しています。今後も、心身ともに健全で、更なる向上を目指し、一層の活躍と、仙台大学の今後ますますの発展の願いも込めて応援していきます！

発行 宮城県柴田町議会 編集 柴田町議会広報常任委員会 宮城県柴田郡柴田町船岡中央 丁目3番45号 ☎(0)33-44-5511 印刷 伊藤印刷

- 議会広報常任委員会
- 委員長 加藤 滋
 - 副委員長 平間 幸弘
 - 委員 石森 靖明
 - 委員 伊東 潤
 - 委員 吉田 清
 - 委員 小田部 峰之
 - 委員 平間 奈緒美

編集を終えて

スポーツを始めるのにはいい季節になりましたね。散歩やウォーキングをしながら自分だけの名所探しをしてはどうでしょうか。

さて、9月会議が終了すると同時に議会だよりの編集作業が始まります。原稿作成や写真撮影など、7人の委員が1ページ1ページ試行錯誤しながら作成しています。

最後に今号もご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

(平間奈緒美)

槻木保育所



かわいい子どもたちと中庭で

お詫びと訂正 令和4年8月1日こんにちにはしばた議会です第177号の3ページ、6月会議に係る「一般会計補正予算 主なもの」の表中に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤) 子育て世帯生活支援特別給付金事業(子ども一人に10万円)
正) 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(子ども一人に5万円)

12月会議の予定

12月会議は **12月5日**(月)
午前9時30分開会予定

※新型コロナウイルス感染症の状況により、日程は流動的です。
詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

議会からの情報発信

柴田町議会活動を発信しています。ぜひご覧ください。



このしばた議会だより 178号は、約16,550部作成しています。1部当たりの経費は約55.8円です。